

## 国保条例改正 料率9・86%アップ

【背景】8%を超える医療給付費の異常な伸びに対応するため、一般会計からの法定外繰入として2000万円、財政調整基金から1743万円、合計3743万円を繰り入れ、保険料率の上げ幅を半分に抑制したとの説明が、町からありました。

【論点】これまで回避してきた一般会計からの繰入を行うか、行うとすればどのくらいが妥当かが論点となりました。

【経過と結果】社会文教常任委員会での審査では、給付費の急激な伸びの原因について質問があり、担当課から「現状では不明」、「今後も研究を続け、保険予防事業につなげていく」との説明がありました。本会議では、これまで十分すぎるほど

の議論を重ねてきた経過もあり、町の財政状況を考え、賛成多数（賛成9・反対1）で可決されました。名取武一議員からは「繰入額を増やすべき」との反対討論がありました。

### 一般職・特別職給与を削減する条例改正

【背景】復興財源に回すとの趣旨で、国は地方交付税の交付引き下げを決め、地方自治体に一般職・特別職給与の引き下げを求めてきたものです。

【議論の経過】最終日に追加上程されたため、委員会審査を省略し、本会議において白熱した質疑、討論が行われました。【論点】今回の引き下げ要求が、受け入れ難い国の暴挙であるという点で、全議員の認識は一致しています。その上で、

どのような判断が町民のためになるかが論じられました。

#### ●反対・佐久祐司

地方自治権の侵害であり、遺憾。今後も繰り返される可能性がある。

#### ○賛成・小池博之

許しがたい暴挙だが、期間限定で受け入れざるを得ない。

#### ●反対・名取武一

国が交付金を減らすから職員の給与を減らすというのは短絡的。国に堂々と物申すべき。町職員の給与削減は、町の経済にも悪影響。

#### ○賛成・加々見保樹

町は国以上に定数削減に努めてきた。腹立たしいが、拒否した場合の町財政に与える影響を考えれば、賛成するしかない。

#### ●反対・宮下伸悟

交付税を楯に給与引き下げを強制的に迫るやり方は、地方自治の根幹を

覆す。地方分権の流れにも反する。

#### ○賛成・小林市子

理不尽な要求だとは思いますが、拒否や先送りしても町のためにならないと考える。苦渋の選択。

#### ○賛成・小池勇

国による暴挙だが、当事者たる役場職員が受け入れる方向である以上、尊重すべき。拒否した場合、議員辞職では済まない損失を町に与える可能性がある。

### 議員提案で意見書を2件提出

■国民健康保険制度における国庫負担の増額を求める意見書（提出者・社会文教常任委員会）

■長野地方裁判所各支部における労働審判事件の取り扱いの開始を求める意見書（提出者・宮下伸悟議員）

## 採決結果（議案抜粋）

○賛成 ●反対

議会	議案	議員名									
		三井新成	小池勇	五味平一	小林市子	平出隼仁	宮下伸悟	小池博之	佐久祐司	加々見保樹	名取武一
5月臨時会	平成24年度一般会計補正予算(第11号)の専決処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成24年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)の専決処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月定例会	国民健康保険条例の一部改正(保険料改定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	一般職の職員の給与削減に係る条例改正	○	○	○	○	○	●	○	●	○	●
	特別職の職員の給与削減に係る条例改正	○	○	○	○	○	●	○	●	○	●
	TPPへの参加に反対する陳情	●	●	●	●	●	○	●	○	●	○

### 〔請願・陳情〕

- ◆TPPへの参加に反対する陳情  
〈賛成少数で不採択〉
- ◆「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する陳情  
〈全会一致で採択〉
- ◆35人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する陳情  
〈全会一致で採択〉